

ハ露西革命紀念日ノ夕メ糸士ノ論旨過激ニ亘リ夕
ル夕メ内十五名ハ臨監警察官ニ於テ中止ヲ命シ夕リ
主十九續説要旨別記ノ通り

右及申(通)報ハ也

(一京文のまゝ)

東京硝子労働組合運動方針

東京カラス労働組合は現在東京市に於ける一工場に基礎を
持つて居る。そして東京地方にあるガラス工場の数に本所は六〇工場
深川区に八〇工場を中心し合計約二〇〇工場を以て従事する労働者約一万余
人である。内朝鮮人八百人、ガラス産業の労働条件の悪い事は重工業等
に比して見出し得ない程である。ゴム、セルロイド等の化学産業と通ず
る点がある。

本組合は此の酷使に肉血を擦られて居る労働者の生活を改善し進んで無
産階級解放の戦線の一端を固めねばならぬ

次に吾々がガラス労働組合は是れガラス産業の中での成長しきる可きでは
ない。小産業の中での固定する事は部分的闘争にとらわゆる危険がある